



60th Anniversary



岡山県生活協同組合連合会
60周年記念誌



岡山県生活協同組合連合会

岡山市北区奉還町一丁目7-7

TEL:086-230-1315

URL:<http://okayama.kenren-coop.jp/>



会長理事あいさつ

Message

60th Anniversary

ささえあって60年 これからもあなたとともに



岡山県生活協同組合連合会 60周年記念誌 / 目次

ささえあって60年	1	岡山県の生協 購買生協 医療生協 共済生協	7
会長理事あいさつ	2	安心して暮らせる地域社会づくり	9
岡山県生活協同組合連合会 会長理事 近藤 清志		行政との連携や協働	13
祝 辞	3	協同組合間の連携	14
岡山県知事 伊原木 隆太		60年のあゆみ	15
祝 辞	4	会員生協紹介	19
日本生活協同組合連合会 代表理事会長 本田 英一		協同組合のアイデンティティに関するICA声明	22
生協とは	5	コープSDGs行動宣言	22
岡山県の生協の到達点	6		

「協同」の組織としての役割を担って

岡山県生活協同組合連合会

会長理事 近藤 清志



岡山県生活協同組合連合会は、2020年3月に創立60周年を迎えることができました。行政をはじめ、これまで生協連に関わり支えていただきました多くの皆さまに、心より感謝を申し上げます。

それぞれの時代の中で、生協連の役割も変化し、「食品添加物規制緩和」反対の取り組みや食品衛生法改正を求める運動、2000年代に入ると、消費者行政の充実、強化にむけた取り組み、「地域社会づくり」が重要なテーマとなっています。

また、東日本大震災、熊本、北海道などの地震、台風や西日本豪雨など日本の各地で発生しました自然災害による被災に対しまして、さまざまな支援活動を行うなど、協同の組織としての生協の役割を発揮してきました。

少子高齢化、人口減少社会が進み、一人暮らし世帯の増加や社会的孤立、介護問題、一部では生活基盤としてのインフラの維持が困難になるなど経済社会全般にさまざまな影響を与えることが懸念され、貧困と格差の問題は、子どもへの連鎖も含め、社会的な問題となっています。

誰もが安心して暮らすことができる地域社会の実現は、私たち共通の願いであり、会員生協では、医療や福祉、購買事業や共済事業とともに、健康づくりや居場所づくり、子育て支援、有償無償のボランティア、子ども食堂や「生活相談」の実施など、地域の課題解決にむけて取り組みをすすめています。

国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」では、「誰一人取り残さない」ことを原則に、貧困や不平等の解消、持続可能な経済・社会の実現、地球環境の保全等17の目標が決められ、世界的な課題に対して、私たち生協では、その理念や事業、活動の多くが重なり合っています。

2016年には、協同組合の思想と実践が評価され、ユネスコの「無形文化遺産」に登録されました。協同組合の価値や理念をもとに、行政や協同組合、他団体との連携を強めながら、安心して暮らすことのできる地域社会の実現にむけ、引き続き、生協として役割を担ってまいります。

今後とも皆さま方のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「生き活き岡山」の 実現をめざして

岡山県知事

伊原木 隆太



岡山県生活協同組合連合会が、このたび創立60周年という節目を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

岡山県生活協同組合連合会は、昭和35年の設立以来、会員である生協の事業の発展を図り、会員生協の組合員の生活の改善および文化の向上を図ることなどを目的にさまざまな事業を実施され、会員生協の発展に大きな役割を果たしてこられました。そして今や11の会員生協に、70万人を超える組合員が加入する県内最大の消費者組織に発展されています。

また、事業内容も、生活物資の供給をはじめ、医療、福祉、共済などさまざまな分野へ広がり、国連が定めた「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みにも積極的に貢献いただいているところであり、関係者の皆さま方のご努力に対して深く敬意を表する次第であります。

今年は、新晴れの国おかやま生き活きプランの最終年度に当たります。プランに掲げる目標達成に向け、時代の潮流の変化や県民の皆さまのニーズを的確に把握し、さまざまな主体と連携しながら、より実効性の高い施策を着実に推進することで、好循環の流れをさらに力強いものにし、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現をめざして取り組みを加速してまいりたいと考えております。

皆さま方におかれましても、なお一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げますとともに、今後とも消費生活協同組合法に基づき、消費者の要望、時代や社会の要請を積極的に取り入れられ、組合員のニーズに沿った適切かつ健全な運営に努められますよう期待しております。

終わりに、岡山県生活協同組合連合会ならびに会員生協のさらなるご発展と、組合員の皆さまのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

創立60周年を 迎えて

日本生活協同組合連合会

代表理事会長 本田 英一



岡山県生活協同組合連合会の創立60周年にあたり、全国の生協の仲間とともに心よりお祝い申し上げます。創立以来、多くの困難の中で歴史を積み重ねてこられた皆さまのご苦勞とご努力に対し、心より敬意を表します。

貴連合会は、創立以後、時代環境の変化の中で、学校生協や職域生協、医療生協、地域生協、共済生協、大学生協とさまざまな会員生協の皆さまと共に協同・連帯の基礎を築いてこられました。

そして、食品の安全を守る活動、平和の取り組み、安心して暮らせる地域社会づくり活動、福祉・健康活動など暮らしを守るさまざまな活動や、協同組合間・地域諸団体との連携、行政との協働の取り組みを積み重ねてこれ、2018年の西日本豪雨災害でも行政対応や被災者支援活動で役割発揮をされるなど、地域社会になくてはならない存在として発展されてきました。

日本生協連の2018年通常総会では、特別決議「コープSDGs行動宣言」が採択されました。全国の生協では、持続可能な生産と消費、健康づくり、防災・減災、環境保全、子どもや子育てを支援する活動が、組合員の皆さまに参加いただきながらさらに広く取り組まれています。

日本生協連は、今後も全国の皆さまとご一緒に、事業や活動を通じSDGsの目標達成に向けた貢献をさらにすすめていきたいと思っております。

60周年を迎え、これからも、会員生協、組合員の皆さまと共に力を出し合い、よりよい地域の未来に向けてますます力強く発展されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

生協とは

生協は、消費者自らがよりよい暮らしを実現するための協同組合です。

生協とは、「生協法」に基づいて設立される協同組合の一つで、利用者である消費者自らが出資して組合員となり、意思決定や運営に参画し、事業や活動を通して暮らしのねがいを実現しています。

生協は、営利を目的とせず、人と人との結びつきにより、よりよい暮らしを実現することをめざしています。



全国では、2,900万人が参加する日本最大の消費者組織で、岡山県では、70万人が参加しています

生活協同組合 みんなの「ねがい」を実現します

みんなで運営する

- 商品開発 ● 委員会
- 企画 ● 学習会

みんなで出資する

生協の
共同所有者に

みんなで利用する

- 宅配 ● 店舗 ● 共済
- 福祉・介護・医療



生協の
種類

購買生協

地域生協 職域生協
学校生協 大学生協

医療生協



共済生協

住宅生協 など

生協の始まり

世界に先駆けて産業革命が起こったイギリスで、1844年、自営業者や労働者など28人により、「ロッチデール公正開拓者組合」が設立されました。これが世界で最初に成功を収めた生活協同組合です。

日本の生協の歴史は大正時代にさかのぼります。1921年に現在のコープこうべの前身となる神戸購買組合と灘購買組合、1926年に現在の大学生協の前身となる東京学生消費組合、1927年に東京に江東消費組合などが設立されました。

このような生協誕生の中心となった人物が“生協の父”といわれる賀川豊彦です。戦後、協同組合運動の復興をめざして、日本協同組合同盟(日本生協連の前身)が1945年に設立され、賀川豊彦が初代会長に就任しました。1951年に日本生協連が生協法(1948年制定)に基づき設立され、その初代会長も務めました。

賀川 豊彦

(1888～1960年)

社会運動家。労働者や農民の困窮した状態を憂い、救済運動を行いました。1923年の関東大震災では、直ちに神戸から被災地に入り救済活動を行いました。友愛による協同組合運動の必要性を痛感し、購買や医療生協、共済、信用組合などの創設に尽力しました。



岡山県の生協の到達点

県生協連会員生協

岡山県の生協の概況

1960年に創立した岡山県生協連は、60周年を迎える現在、11の会員生協に70万人世帯を超える組合員が加入する県内最大の消費者組織となっています。

購買生協は、地域・職域・大学・学校の7生協に39万8千人が組合員、総事業高は477億円で、組合員の暮らしに必要な商品を提供しています。

医療生協は、3生協に13万8千人が組合員、総事業高は186億円で、組合員の暮らしを医療や福祉でサポートしています。

共済生協の県労済生協は、16万5千人が組合員、共済という助け合いのしくみを通じて安全・安心な暮らしを提供しています。



会員生協の到達点 (2018年度)

生協名	組合員数(人)	出資金(万円)	総事業高(万円)
県学校生協	19,071	17,031	39,565
三井造船生協	21,585	53,845	372,707
おかやまコープ	336,526	1,006,505	4,051,437
ヤンマー農機製造生協	377	37	1,853
岡大生協	14,749	26,654	205,692
グリーンコープ	5,157	28,455	90,579
就実生協	1,392	2,774	14,201
購買生協計	398,857	1,135,301	4,776,034
岡山医療生協	67,396	189,705	810,663
倉敷医療生協	65,711	168,027	1,017,430
津山医療生協	5,276	7,680	38,230
医療生協計	138,383	365,412	1,866,323
県労済生協	165,370	117,563	681,040
県生協連計	702,610	1,618,276	7,323,397



岡山県の生協

県生協連会員生協

購買生協

地域生協

おかやまコープ グリーンコープ生協おかやま

毎日のくらしに必要な商品を供給しています。コープ商品や産直品をはじめとする食品を中心に、家庭用品なども取り揃えています。決まった曜日にご自宅や職場へお届けする宅配や県下各地の店舗での商品を供給、また共済も取り扱っています。高齢化社会に対応し、夕食宅配の実施や福祉事業を展開している生協もあります。組合員のよりよくくらしと社会のため、さまざまな組合員活動に取り組んでいます。



職域生協

三井造船生協 ヤンマー農機製造岡山地区生協

職場を共有する人々の生協です。そこで働く社員や職員の福利厚生施設としての役割を担うとともに、職場がある地域に居住する住民を対象に商品供給や各種サービスの提供をしている生協もあります。

大学生協

岡山大学生協 就実生協

大学の学生・院生・教職員を組合員として、学習・研究から、日常生活・食生活などの大学のあらゆる場面でサポートする多彩な事業活動をしています。



学校生協

岡山県学校生協

小、中、高校などの教職員や退職された教職員を組合員として、カタログ事業やカード事業、提携指定店などの事業を行っています。

医療生協

岡山医療生協 倉敷医療生協 津山医療生協

病院・診療所による医療事業と訪問看護・訪問介護・デイケア・デイサービスなどの介護福祉事業まで切れ目のないサービスを通して、組合員や地域住民のくらしをサポートしつつ、安心して住み続けられるまちづくりに取り組んでいます。また、組合員活動として、健康づくり、助け合い、サロン活動など地域まるごと健康づくりをめざしています。



共済生協

岡山県労働者共済生協 (こくみん共済coop)

組合員相互の助け合いによる共済事業として、安い掛金で誰もが加入しやすく、本当に必要な時に保障を受けられる共済制度を担っています。組合員のより豊かなくらしを守るため、総合的な生活保障をめざした取り組みがすすめられています。





安心して暮らせる 地域社会づくり



生協は、事業や活動のインフラを活用した地域社会づくりに取り組むとともに、地域における役割発揮をすすめています。自治体やNPOなど地域の諸団体との連携を大切にしながら、誰もが安心して暮らせる社会をめざして地域社会づくりに参加しています。

全ての自治体と協定締結

会員生協では、岡山県内全ての自治体と地域見守り協定、災害時物資協定を締結し、役割発揮をすすめています。また、包括連携協定では、幅広い課題で連携しています。

★ 包括連携協定 4

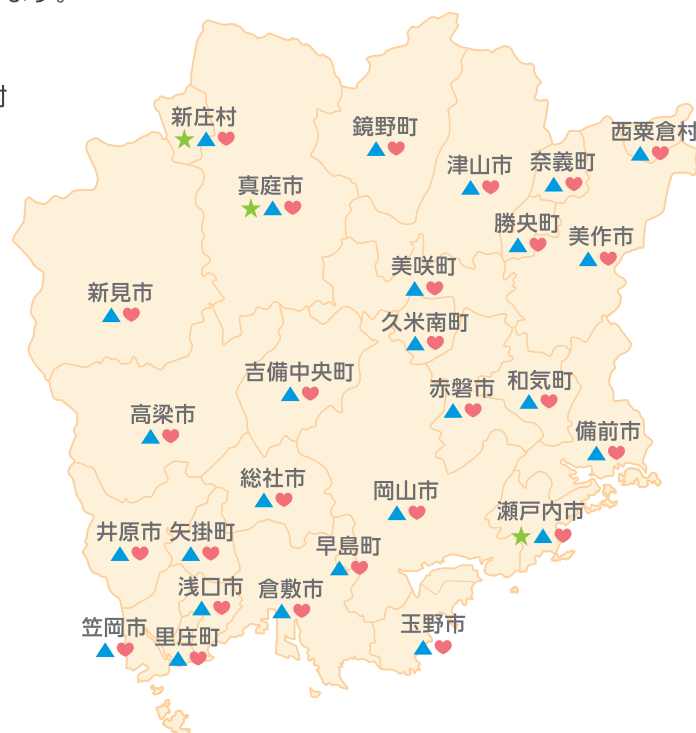
おかやまコープ — 岡山県、瀬戸内市、真庭市、新庄村

♥ 地域見守り協定 27

おかやまコープ — 玉野市除く全自治体
三井造船生協 — 玉野市
岡山医療生協 — 岡山市・赤磐市
倉敷医療生協 — 倉敷市

▲ 災害時物資協定 28

おかやまコープ — 玉野市除く全自治体
三井造船生協 — 玉野市
岡山流通情報懇話会 — 岡山県
(おかやまコープ、三井造船生協も参加)



岡山県とおかやまコープが 「包括連携協定」を締結

2016年7月に岡山県とおかやまコープが、

- ① 地産地消の推進
- ② 地域の安全・安心の確保
- ③ 高齢者及び障害のある人の支援
- ④ 子育て支援
- ⑤ 環境保全
- ⑥ 災害対策
- ⑦ 県の情報発信
- ⑧ その他県民サービスの向上 など

の8項目で「包括連携協定」を締結しました。



宅配事業は、買い物不便な 地区住民のライフライン 山間地、離島など 県下全域に毎週配達



北木島での配達



生協の宅配は、山間地や離島など買い物が不便な地域へも毎週、商品をお届けし、組合員のくらしを支えています。北木島では、トラックごとフェリーに乗り込み、島の港から出発、組合員さんに毎週、商品を配達しています。

子どもたちや高齢者が安心して暮らせる地域社会づくり 地域で活動する諸団体とも連携

生協は、安心して暮らし続けられる地域社会づくりの一環として、地域におけるさまざまなくらしの困りごとや課題に対する支援や応援の活動に取り組んでいます。とりわけ、子どもたちや高齢者への支援や応援をすすめています。

子どもたち



子育て中の親と子どもが自由に集える「子育てひろば」



「子育て応援」として、無料塾や宿題応援隊



子どもの貧困問題への取り組みとして「子ども食堂」

高齢者



高齢者等の困りごとや家事援助の「は〜と♡ふるネット」「てご♡ねっと」



地域での居場所づくりとして「サロン活動」



「フレイル予防」でみんな元気に

健康づくり

ヘルスチャレンジ

「ヘルスチャレンジ」は、生活習慣を見直すことで、健康寿命を延ばすことや健康づくりのきっかけに、誰もが気軽に取り組める企画として、2005年から



各医療生協で取り組みが始まり、2012年からは県生協連が主催して、県内の医療生協を中心に各会員生協全体で取り組んでいます。厚生労働省や岡山県からもこの取り組みが評価され、表彰されました。



厚生労働省や岡山県から表彰されました

ヘルスチャレンジの取り組みが評価され、2017年には、厚生労働省スマートラテフプロジェクト「第6回健康寿命をのばそう! アワード」で健康局長優良賞を受賞、2018年には、岡山県「健康づくりアワード2018」の地域部門で表彰されました。



厚生労働省からの表彰



岡山県での表彰式

さまざまな健康づくりの取り組みを実施

健康づくりを通じて、人がつながることで、毎日が一層意欲的に生きられるような取り組みをすすめています。



健康まつり



健康チェック



ころばん体操

「おいしくたのしくみんなで減塩…すこしお生活」

健康づくりの一環で、すこしお生活(少しの塩分ですこやかな生活の略称)をすすめています。

一日の塩分量6g未満を無理なく習慣化していくことをめざした減塩活動です。

コープフェスタでは、岡山県栄養士会と連携して、すこしお生活のブースで「すこしお」をアピールしました。



すこしお生活ブース

災害復興支援

毎年のように、全国各地で豪雨や台風、地震などの自然災害による被害が発生しました。岡山県でも2018年7月の西日本豪雨災害で甚大な被害が発生しています。また、2011年3月の東日本大震災から9年が経ちました。生協では、募金活動とともに災害復興支援に取り組み、たすけあいの組織、生協としての役割発揮をさまざまなかたちですすめました。



西日本豪雨災害



災害時物資協定に基づき、おかやまコープは、7市町に約5万点の物資をお届け



岡山県に義援金を贈呈



倉敷市に義援金を贈呈



全国の生協からボランティアセンターの運営に協力



倉敷医療生協の避難所巡回



岡山医療生協の救護所



グリーンコープの炊き出し

東日本大震災

2011年の東日本大震災発災直後、岡山県の購買、医療、共済の各生協は、ただちに支援活動を始めました。その後も多くの被災者に寄り添いながら、息の長い支援を続けています。



物資支援の出発式



岩手県での移動販売



避難所での医療支援

● 福島の子ども保養プロジェクト (2012年10月)

福島県生協連と共催で「福島の子ども保養プロジェクトinおかやま」を開催しました。福島第一原発事故により避難所生活を強いられ、普段のくらしを取り戻していない中で、福島県の子どもたちを中心に26名の親子を岡山に迎え入れ、楽しいひと時を過ごしました。



防災・減災の取り組み

こくみん共済coopでは、防災・減災知識の習得と訓練をすすめることで地域の防災意識を高めることを目的に、県下各地で防災・減災のセミナーやカフェ、イベントに取り組んでいます。



防災カフェ



キッズぼうさい迷路

行政との 連携や協働



毎年、副知事や県議会議員と懇談し、生協への理解を広げています

● 副知事との懇談の開催

生協から、事業や活動の概要、大切にしている考え方などについて説明後、懇談を行い、生協への理解を深める場としています。

● 県議会議員との懇談の開催

全会派から出席をいただき、生協からの報告を受けた後、議員からの質問や意見交換を行う中で、生協への理解を深める場としています。



副知事との懇談



副知事との懇談



県議会議員との懇談

毎年、岡山県へ「要望書」を提出し、県行政との定期懇談を開催

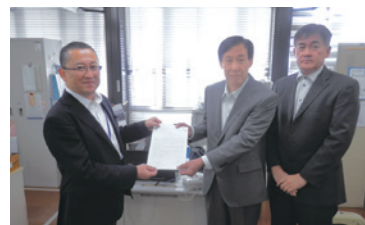
● 岡山県へ「要望書」を提出

県行政に対する生協からの要望項目をまとめ、毎年7～8つのテーマで要望しています。

● 県行政との定期懇談を開催

「要望書」の各テーマを管轄する部署から出席いただき、回答の説明と質疑応答を行い、内容を深めるとともに、協働できることや実現できることの検討の場としています。

● 各会員生協もそれぞれの自治体と要望の実現に向けて行政懇談を行っています



岡山県へ要望書を提出



県行政との定期懇談



岡山医療生協と岡山市の懇談



倉敷医療生協と浅口市の懇談



中四国生協・行政合同会議

毎年、中四国生協・行政合同会議を開催

中四国各県の行政と生協が一堂に会し、厚生労働省からの報告や行政と生協が一緒に取り組めることなどをテーマに意見交換を行っています。

協同組合間の 連携



協同組合が よりよい社会を築きます

協同組合は、共通のねがいを持つ人々が出資し、民主的かつ自主的に運営していく事業体で、相互に助け合って、よりよい暮らしを実現するための組織です。

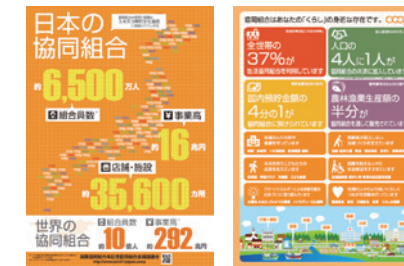
岡山県にも、生協や農協、漁協や森林組合など、さまざまな協同組合があります。全国では、2018年に日本協同組合連携機構(JCA)が設立されました。協同組合の連携を促進し、協同組合の力を結集して、地域の課題解決をめざしています。

● 2012年は「国際協同組合年」、岡山県では、「国際協同組合年フェスティバルinおかやま」開催

岡山県では、国際協同組合年を記念して、岡山県農業協同組合中央会、岡山県漁協協同組合連合会、岡山県森林組合連合会、岡山県生活協同組合連合会の4つの協同組合を中心とした実行委員会主催で、2012年9月に「2012 国際協同組合年フェスティバルinおかやま」を開催し、協同組合の役割や活動をアピールしました。



国際協同組合年フェスティバルinおかやま



● 協同組合交流会の開催やコープフェスタで協同組合コーナーを出展し、協同組合をアピールしています



交流会での太田真庭市長の講演



県生協連のSDGs輪投げ



JA岡山中央会の「田んぼの役割、生き物」



県漁連の瀬戸内の生きた魚

● 会員生協では、県内の農協や漁協と連携した取り組みを行っています

おかやまコープは岡山県、日生町・邑久町漁協、笠岡地区漁業連絡協議会などと協定を結び、藻場再生に取り組む、豊かな里海づくりを応援しています。また、里海のカキ殻で作った土づくり資材を活用して栽培された里海米を、JA(生産者)主体に組織された「瀬戸内かがらアグリ推進協議会」を通して普及に取り組んでいます。



アマモの種まき



里海米

60th Anniversary

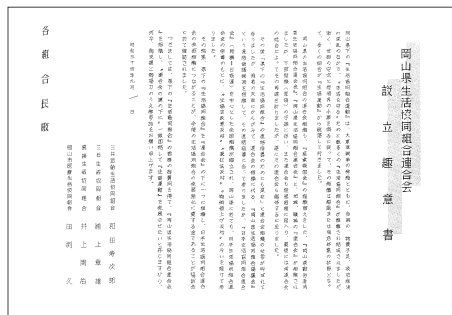
岡山県生活協同組合連合会

60年のあゆみ 1960-2020

- 1960年 3月 県生協連設立認可、県庁厚生課内に事務所
会員生協は、吉永地域生協・下加茂生協・真庭正油生協・
酒津生協・新三菱生協・帝国興業生協・三石生協・児島
医療生協・裳掛生協・本花滝生協・三井生協・向日比生協・
岡山医療生協・水島生協・大茅生協・岡山生協・勝央生協
の17生協
- 1961年 5月 岡山労済生協設立
- 1963年 10月 北興化学生協設立
- 1965年 セイレイ工業生協が県生協連へ加入
- 1966年 4月 岡山県住宅生協設立
優良消費生協、功労者の知事表彰
- 1967年 第1回全国生協大会開催
- 1968年 700名の参加で県生協大会開催、対県要請交渉
医療部会で公害反対運動、老人対策、
職業病、集団検診運動広がる
- 1969年 3月 岡山県労働者福祉協議会結成



三井造船生協の店舗



設立趣意書



岡山生協再建



班会での健康チェック

- 1974年 岡山県学校生協が県生協連へ加入
- 7月 岡山生協倒産、ただちに再建開始
- 1977年 5月 岡山生協から岡山市民生協へ名称変更
- 11月 水島生協から倉敷市医療生協へ名称変更
- 1978年 10月 県生協連組織担当者交流会始まる
- 1980年 8月 津山医療生協設立
- 8月 中国地区生協連絡協議会結成総会
- 1982年 6月 第2回国連軍縮特別総会(SSDII)に3生協から
4名が参加
SSDIIの報告会をきっかけに青年団協議会、
婦人協議会、市原爆被爆者会との共同行動始まる
- 8月 市民団体による第1回岡山県民平和のつどい開催
- 1985年 7月 市民団体としての平和行進始まる

- 1986年 6月 中四国生協協議会設立
- 9月 第1回中四国生協・行政合同会議
- 1987年 10月 岡山県消費者団体連絡協議会結成、
第1回岡山県消費者大会開催
- 11月 川崎製鉄生協設立
- 1988年 6月 日本生協連第48回総会、岡山で開催
- 10月 生協法制定40周年で山本会長、岡山市民
生協が厚生大臣表彰を受彰
- 1990年 3月 県生協連30周年式典・レセプションを開催
県議会議員との第1回懇談会開催
- 1991年 4月 アースデー'91おかやま環境シンポジウムを開催
- 1993年 10月 生協法制定45周年を記念して、県生協連が
厚生大臣表彰を受彰
- 1994年 12月 岡山大學生協創立総会
- 1996年 7月 JA中央会、漁連、森連、県生協連が
県協同組合連絡協議会を結成



岡山県消団連絡協議会



県生協連30周年レセプション



協同組合連絡協議会結成



県生協連40周年記念祝賀会

- 1997年 1月 県生協連(三役)と石井県知事との初懇談会
- 1998年 10月 台風10号被害に対してボランティア派遣等
迅速な救援活動を展開
- 10月 生協法制定50年で岡山医療生協と
後藤四六県連顧問が厚生大臣表彰を受彰
- 12月 全国の生協から寄せられた被災者生活支援の
義援金の一部355万円を岡山県に贈呈
- 1999年 1月 県知事感謝状を県生協連を含む
8組合、11個人が受賞
- 2000年 3月 県生協連創立40周年記念祝賀会を開催
- 3月 40周年記念誌の発行
- 4月 県生協連が常勤専務理事制へ
- 5月 岡山市民生協から
生活協同組合おかやまコープを正式名称に
- 6月 男女共同参画実現の一環として、
理事会に女性理事選出(第41回通常総会)
- 2001年 1月 大茅生協が解散
- 8月 (財)おかやま環境ネットワークが県の認可

- 2003年 9月 第15回目となる県議会議員との懇談会は、議員によるおかやまコープの商品センター、商品検査室の施設見学と合わせて行われた
- 10月 生協法55周年を記念して、県労済生協と吉永紀明会長理事が厚生労働大臣表彰を受賞
- 2004年 8月 台風16号により玉野市・倉敷市を中心に被害、ボランティアが大活躍
- 9月 中四国生協・行政合同会議が岡山で開催
- 10月 県生協連医療部会で非常勤理事研修交流会を開催
- 2005年 3月 県生協連がホームページを開設
- 6月 岡山県住宅生協が解散
- 9月 県生協連がベトナムの生協「サイゴンコープ」を訪問
- 2006年 4月 おかやまコープと三井造船生協が参加する岡山流通情報懇話会が、岡山県と「災害等発生時における生活必需品等の物資の調達に関する協定」を締結
- 6月 グリーンコープ生協おかやまが県生協連へ加入
- 9月 会員生協で「こども110番」の取り組みがスタート
- 2007年 6月 消費者ネットおかやまが発足総会
- 2008年 6月 特定非営利活動法人消費者ネットおかやまが設立総会
- 8月 JFEコープが解散
- 10月 生協法制定60周年記念で、岡山県学校生協が厚生労働大臣表彰を受賞



ベトナムのサイゴンコープ訪問



消費者ネットおかやま発足総会



創立50周年記念講演会



創立50周年記念レセプション

- 2009年 5月 吉永紀明元会長理事が岡山県消費者活動功労者表彰を受賞
- 11月 県生協連50周年記念ボウリング大会が4会場で開催、380名の参加
- 2010年 3月 県生協連創立50周年記念講演会、同式典、レセプションを開催
- 3月 50周年記念誌の発行
- 2011年 3月 東日本大震災に対して、購買、医療、共済分野の各生協がさまざまな被災地支援を実施
- 10月 国際協同組合年岡山県実行委員会が発足
- 10月 県生協連医療部会で非常勤理事研修交流会を開催
- 2012年 7月 「岡山県民平和のつどい」が第31回の開催を以って終了
- 7月 国際協同組合年記念講演会を開催
- 9月 国際協同組合年フェスティバルinおかやまを開催
- 10月 福島の子ども保養プロジェクトinおかやまを開催
- 10月 国際協同組合年を機に、「ヘルスチャレンジ」を県生協連主催として取り組む

- 2013年 4月 セイレイ工業生協がヤンマー農機製造岡山地区生協へ名称変更
- 5月 本花滝生協が解散
- 9月 第29回中四国生協・行政合同会議を岡山県で開催
- 10月 生協法制定65周年で、津山医療生協と安場靖元会長理事が厚生労働大臣表彰を受賞
- 2015年 12月 消費者ネットおかやまが内閣府から適格消費者団体に認定
- 4月 NPT再検討会議行動へ代表派遣
- 2016年 5月 消費者ネットおかやまが消費者支援功労者団体表彰を受賞
- 7月 生協間連携として、おかやまコープの店舗2階に岡山医療生協のコープ大野辻クリニックが開設
- 7月 おかやまコープが岡山県と「包括連携協定」を締結
- 10月 就実生協が県生協連へ加入



コープ大野辻クリニックが開設



就実生協オープン



街頭署名



真備歯科診療所被災



創立60周年上海視察研修

- 2017年 11月 「ヘルスチャレンジ2016」の取り組みが第6回健康寿命をのぼそうアワードで厚生労働省健康局長優良賞を受賞
- 2018年 3月 「ヒバクシャ国際署名」に取り組み、街頭署名活動を行う
- 7月 西日本豪雨災害が発生、倉敷医療生協真備歯科診療所が被災、会員生協が災害支援活動実施
- 9月 「ヘルスチャレンジ2017」の取り組みがおかやま健康づくりアワードの地域部門で表彰される
- 10月 生協法制定70周年で岡山大学生協と三橋幸夫元副会長理事が厚生労働大臣表彰を受賞
- 11月 全国の生協組合員より寄せられた募金を、岡山県および倉敷市(2019年1月)へ災害義援金として贈呈
- 2019年 6月 全労済岡山推進本部が愛称をこくみん共済coop岡山推進本部へ変更
- 12月 県生協連創立60周年上海視察研修を実施
- 2020年 3月 県生協連創立60周年記念講演会が、新型コロナウイルスの影響で中止に
- 3月 60周年記念誌の発行



会員生協紹介（設立期順）

岡山県学校生活協同組合

代 表 者 名	理事長 鳥越 範博
組 合 員 数	19,071人
出 資 金	170,317千円
総 事 業 高	395,657千円
活 動 エ リ ア	岡山県内、保・幼・小・中・高等・特別支援・大学職域
設立登記年月日	1949年 9月10日
役 員 数	(常勤)1人 (非常勤)16人 (監事)3人
職 員 数	(正規)7人 (内2人出向) (パート)4人 (内2人出向)



【概 略】

岡山県学校生活協同組合は、県内公私立の保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学、教育委員会に勤務される方とその職場を退職された方を対象とした職域生協で、組合員より拠出された出資金により運営される事業体です。

学校生協は、1949年に発足以来、組合員の皆さまとともに幾多の困難を乗り越えながら、今日まで発展してきました。今、私たちを取り巻く状況は、行先不透明で不安をかかえたまま推移しています。こういう時だからこそ「平和やくらしを守る生協運動」の果たす役割がますます大切になってきています。今後とも、学校生協事業を魅力あるものに革新しながら、生協本来の活動に邁進し、組合員の福利厚生を担う事業体として更に活動を続けてまいります。

岡山医療生活協同組合

代 表 者 名	理事長 高橋 淳
組 合 員 数	68,168人 (2019年 11月末現在)
出 資 金	1,907,583千円 (2019年 11月末現在)
総 事 業 高	8,106,635千円 (2018年度)
活 動 エ リ ア	岡山県下一円
設立登記年月日	1952年 10月21日
役 員 数	(常勤)8人 (非常勤)25人 (監事)5人
職 員 数	(常勤)723人 (定時)327人



【概 略】

岡山医療生協は、いのちと心を大切にします。
1952年に設立された当組合は、現在2つの病院、4つの診療所、11の介護事業所、1つの歯科診療所、健診センターで構成され、健診から急性期医療～在宅まで、地域の皆さまのさまざまな要望にお応えしています。
当組合では、設立当初より「いのちの平等」を掲げ、人権を大切にした医療・介護をすすめています。そのため、入院時も部屋代を頂かないことや、2012 年1月には2つの病院で無料低額診療事業（患者さんの負担能力に応じて、窓口負担分を無料又は低額にする制度）を開始し、拡大する貧困への対応を強めています。
岡山医療生協では国連の決めたSDGsに則り「岡山医療生協SDGs行動宣言」を決定し、6つの行動目標を掲げ、岡山医療生協がこれまで培ってきた活動や技術を新たに組み直し、改善し、組合員、地域住民のみなさまに新しい価値が提供できるようにしてまいります。
これまで健康チェックの値は各々の組合員で把握し、自分で管理把握していましたが、昨年から班会やまちかど健康チェック、まつりなどの行事で行った健康チェックの値を本部でデータ管理できるシステムを導入し、希望される方にはこれまでの健康チェックの値を確認することができるようになりました。組合員以外の方にも好評で、これをきっかけに加入される方もいらっしゃいます。
今年はさまざまな年代層の要求を汲み上げ、また、医療生協のいいところを自分で語る組合員を増やし、岡山医療生協のリニューアルに向けて活動をさらに発展させてまいります。

三井造船生活協同組合

代 表 者 名	理事長 福井 直和
組 合 員 数	21,456人 (2019年 10月末現在)
出 資 金	526,034千円 (2019年 10月末現在)
総 事 業 高	3,727,070千円 (2018年度)
活 動 エ リ ア	玉野市、岡山市、倉敷市
設立登記年月日	1950年 11月
職 員 数	(正規)98人 (2018年度末) (定時)72人 (2018年度末)



【概 略】

創立以来「人とひとのつながりを大切にし、健康で心豊かなくらしの実現を目指します」の理念のもと、現在では職域ばかりでなく、地域組合員のくらしを支える共同相互組織として、店舗（玉野市内に5店舗）及び訪問販売や宅配弁当、そして、三井E&S構内にミニ売店と、共同購入での宅配事業や、葬祭事業、福祉介護事業、リフォーム事業、旅行業、共済事業など幅広く展開しています。

また、組合員活動では1956年に結成した家庭会（地域組合員組織）を中心として環境問題や福祉活動その他安全な商品の提供にも積極的に取り組んでいます。中でも家庭会チャリティーバザーは第1回目の1979年から連続41年間、毎年その収益金を玉野市の社会福祉事業へ寄贈（累計で1,880万円）など、まさに地域社会にしっかりと根ざした活動となっています。

これら、事業及び組合員活動の歴史を礎に、組合員による・組合員のための生協、安心・安全をキーワードとした生協、また、人と環境にやさしい地域社会づくりに貢献できる生協をめざします。
くらしの中に、そして地域の中に生協がある。
～こういう生協をめざして～

倉敷医療生活協同組合

代 表 者 名	代表理事 高羽 克昌
組 合 員 数	66,329人 (2019年 11月末現在)
出 資 金	1,682,266千円 (2019年 11月末現在)
総 事 業 高	10,174,300千円 (2018年度)
活 動 エ リ ア	岡山県全域
設立登記年月日	1955年 2月28日
役 員 数	(常勤)11人 (非常勤)17人 (監事)5人
職 員 数	(常勤)813人 (非常勤)484人



【概 略】

倉敷医療生活協同組合は、総合病院水島協同病院を中心に、3病院、2医科診療所、7歯科診療所、3訪問看護ステーション、老人保健施設に加え、倉敷市の高齢者支援センター、助産院など多彩な機能を持った26事業所を有して、関連する社会福祉法人・株式会社・NPO法人とともに、医療・介護・福祉と健康づくりのネットワークを展開しています。
2013年（創立60周年）、組合は将来を見据え、医療の質の更なる向上や災害にも強い安全・安心な事業所づくりを提起し、2014年の玉島協同病院、2015年の阿新歯科診療所の移転新築、2017年2月にはコープリハビリテーション病院・老健あかねを移転新築、2018年12月に児島歯科診療所を移転新築しました。また、2018年7月の豪雨災害で全壊した真備歯科診療所も、2019年の1月7日から再開することができました。
水島協同病院や玉島協同病院では、災害時を想定した訓練を倉敷中央病院はじめ、消防署や地域の医療機関とも連携しながら取り組んでいます。
また、地域では「助け合い・支え合い」「人と人とのつながり」を大切にするため、自治体・他法人・社協・ワーカーズコープ・地域組織・町内会等と連携・協力し、居場所づくりとしてのサロン活動や子ども食堂、あらゆる機会を活かしてイベントや街角で健康チェックに取り組んでいます。生協ならではの「班会」を地域に開放し、フレイル予防・オーラルフレイル予防やまちづくりの輪を広げています。
引き続き、行政や地域の諸団体と協力し、組合員、地域住民の切実な思いに寄り添い、「人が人として大切にされる社会」をめざして活動を強めます。

生活協同組合おかやまコープ

代 表 者 名	理事長 平田 昌三
組 合 員 数	342,590世帯 (2019年 11月末現在)
出 資 金	103.1 億円 (2019年 11月末現在)
総 事 業 高	405.1億円 (2018年度)
活 動 エ リ ア	岡山県一円（定款エリア）
設立登記年月日	1956年 6月13日
役 員 数	(常勤理事)5人 (非常勤)14人 (常勤監事)1人 (監事)4人
職 員 数	(正規)411人 (定時)1,510人 (2019年 11月末現在)



【概 略】

おかやまコープは、岡山県内の4割を超える34万世帯が加入する県下最大の消費者組織です。

ビジョン「つながり育む 笑顔広がる 豊かなくらし」を掲げ、持続可能な社会の実現をめざしてさまざまな取り組みをすすめています。宅配・店舗での購買事業を中心に、共済事業、福祉事業を行っています。安全・安心な商品の提供や産直・地産地消の取り組みをすすめ、循環型農業を応援しています。

商品、食育、食の安全、環境、ふくし、子育て、平和、国際協力支援など、多彩な組合員活動にも取り組み、行政や諸団体とのネットワークを通じて、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに参加しています。
子会社コープピーアンドエスでは、旅行、飲食、葬祭や保険などの斡旋事業を行っており、コープファームおかやま、ハートコープおかやまでは、耕作放棄地を活用して障がい者を雇用したトマト生産を行っています。

ヤンマー農機製造岡山地区生活協同組合

代 表 者 名	代表理事 世一 寛行
組 合 員 数	377人
出 資 金	377千円
総 事 業 高	18,532千円
活 動 エ リ ア	職域（工場内）
設立登記年月日	1965年 1月25日
役 員 数	(常勤)0人 (非常勤)9人
職 員 数	(正規)1人 (定時)0人



【概 略】

当生協は新岡山港に程近い、YANMAR農業機械の総合機械メーカーとして2013年4月に新たにスタートしたヤンマー農機製造内で活動しております。

組合員数約370名と限られた範囲での活動ですが、組合員のニーズを反映した、きめ細かい対応をめざして活動ができるよう努力していきたいと思っております。

地球温暖化の影響を受け、異常気象によりさまざまな災害が起こっている中、わたしたちにできることを考えながら、活動していきたいと思っております。

毎年恒例の近隣地域の方々を招いての夏祭り、一年間を通じての地域の公園や遊歩道のグリーン活動など、これからも地域とのつながりを大切にしていきたいと思っております。

岡山県労働者共済生活協同組合

代 表 者 名	理事長 二宮 卓志
組 合 員 数	16万5,370人
出 資 金	11億7,563万3,000円
契 約 件 数	6万9,896件 (42万8,213件)
契 約 口 数	33万9,826口 (5,049万8,792口)
給 付 件 数	2,884件(2万8,195件)
給 付 金 総 額	1億2,381万9,500円 (115億719万3,703円)
活 動 エ リ ア	岡山県一円
設立登記年月日	1961年 4月1日
役 員 数	(常勤)2人 (非常勤)21人
職 員 数	1人(24人) ※()内は連合会実績



【概 略】

岡山県労働者共済生活協同組合（こくみん共済coop岡山推進本部）は、営利を目的としない保障の生協として、岡山県と厚生労働省の認可を得て事業運営を行っています。

当生協は、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」を理念とし、組合員の皆さまの「安心とゆとりある暮らし」をめざした活動を行っています。

「組合員のこくみん共済coop」「正直なこくみん共済coop」「努力のこくみん共済coop」を信条としながら、組合員の暮らしを守るため、防災・減災の取り組みをすすめ、組合員や地域社会からの信頼に応えられるよう努力し続けます。

津山医療生活協同組合

代 表 者 名	理事長 井ノ上 義明
組 合 員 数	5,276人
出 資 金	76,809千円
総 事 業 高	382,306千円
活 動 エ リ ア	定款区域 (主には津山市と津山市周辺町村)
設立登記年月日	1980年 8月12日
役 員 数	(常勤)1人 (非常勤)17人 (監事)4人
職 員 数	(正規)24人 (定時)26人



【概 略】

津山医療生協は、患者・利用者の権利を尊重し、親切でやさしい医療・介護をこころがけ、地域の人の命と健康を守るために全力を尽くしています。

高齢化社会が進み、医療や介護、暮らしをめぐる生活の環境が変わる中で、診療所・訪問看護ステーション・ケアプランセンター・ヘルパーステーション・デイサービスなど保健・医療・福祉（介護）のネットワークをひろげています。

特に在宅診療では365日安心・安全の医療・介護サービスを行っています。

また組合員との協同による地域での健康づくりをすすめています。

岡山大学生生活協同組合

代 表 者 名	理事長 桑原 敏典
組 合 員 数	14,749人
出 資 金	266,540千円
総 事 業 高	2,056,920千円
活 動 エ リ ア	岡山大学津島・鹿田キャンパス
設立登記年月日	1995年 2月20日
役 員 数	(常勤)2人 (非常勤)28人 (監事)4人
職 員 数	(正規)21人 (定時)158人



【概 略】

岡山大学生生活協同組合は岡山大学の学生・教職員の手によって1994年12月に設立されました。

大学生協は、大学の福利厚生事業の担い手として、学生・教職員組合員に良い品をより安く、より便利に提供するとともに、教育・研究の場としての大学にふさわしいさまざまな活動を行っています。

岡山大学では、津島キャンパスのピーチユニオン・マスカットユニオン・ピオーネユニオン及び鹿田キャンパス医学部記念会館という大学の福利厚生施設の中で、構成員のニーズにもとづいて、購買・書籍事業、旅行事業、食堂事業、共済事業、住生活支援事業など幅広い事業に取り組んでいます。

就実生活協同組合

代 表 者 名	理事長 丹生 裕一
組 合 員 数	1,635人 (2019年 11月末現在)
出 資 金	32,605千円 (2019年 11月末現在)
総 事 業 高	142,017千円 (2018年度)
活 動 エ リ ア	就実学園 (現在は、大学・短大キャンパス内でのみ営業)
設立登記年月日	2016年 8月5日
役 員 数	(常勤)0人 (非常勤)15人 (監事)4人
職 員 数	(正規)1人 (定時)26人



【概 略】

就実生活協同組合は、就実大学・就実短期大学の学生・教職員が中心となって設立されました。組合員である学生及び教職員が自主的に運営に参加し、大学の生活環境を改善・向上させ、学習や教育及び研究活動をより充実させるために、「学生にとって実りある居場所づくり」を目標に立て、組合員の皆さまの要望を聞き、その要望に多く応えられる担い手として、さまざまな活動を行っています。

現在は、大学、短期大学の福利厚生施設の中で食堂、喫茶、売店、書店などの事業を行っており、少しずつサービスの拡大、改善を行い加入・利用は伸長しています。また、seedS(シーズ:生協学生委員会)の活動も発展、拡大しており、新入生の入学準備サポートや交流会の実施、日常のキャンパスを盛り上げるお楽しみ企画や、今後の活動のヒントになる調査活動などを行っています。

今後もキャンパスライフの充実をめざし、seedSの活動を通じてキャンパス内のコミュニティの発展や、教育・研究の支援ができるように事業を発展させていきたいと思っています。

グリーンコープ生活協同組合おかやま

代 表 者 名	理事長 飯村 美智子
組 合 員 数	5,157人 (2019年 3月20日現在)
出 資 金	284,550千円 (2018年度末)
総 事 業 高	905,797千円 (2018年度)
活 動 エ リ ア	岡山市・倉敷市・赤磐市・瀬戸内市・総社市及びその周辺地域 (共同購入と個配事業)
設立登記年月日	2003年 8月13日
役 員 数	(常勤)1人 (非常勤)10人 (監事)3人
職 員 数	(職員)17人 (定時職員)16人



【概 略】

グリーンコープ生協おかやまは、安心・安全な食べものを求め、環境問題や地域福祉、平和の取り組みなどに関心ある消費者が集まり、2003年8月に設立しました。

無・減農薬で栽培された青果・農産物や遺伝子組み換えされていない飼料で育てた畜産物、なるべく添加物を使わずにつくった加工品など「いのちを育む食べもの」を、組合員に届けています。また、生産者やお取引先メーカーとの「顔の見える関係」を大切にすることで、組合員世帯の食の安全を守るとともに、国内の農畜産業を守っていく取り組みとして位置づけすすめています。

今の時代、経済と社会不安が大きくなっていく中で、一番大切な事は「信頼」です。組合員と地域の人々との「助け合っていく。支えあっていく。」をつくっていくことができる生協をめざして参ります。

県生協連会員生協名簿		
岡山県学校生活協同組合	TEL 086-272-4033 〒703-8258 岡山市中区西川原255	FAX 086-272-4034
三井造船生活協同組合	TEL 0863-31-5566 〒706-8501 玉野市玉二丁目5-5	FAX 0863-31-7459
岡山医療生活協同組合	TEL 086-271-0943 〒703-8288 岡山市中区赤坂本町2-20	FAX 086-271-7854
倉敷医療生活協同組合	TEL 086-444-4321 〒712-8025 倉敷市水島南春日町13-1	FAX 086-448-4150
生活協同組合おかやまコープ	TEL 086-256-2511 〒700-0026 岡山市北区奉選町一丁目7-7	FAX 086-256-2585
岡山県労働者共済生活協同組合	TEL 086-254-2155 〒700-8569 岡山市北区駅元町6-26	FAX 086-254-2500
ヤンマー農機製造岡山地区生活協同組合	TEL 086-276-8111 〒702-8004 岡山市中区江並428	FAX 086-276-8152
津山医療生活協同組合	TEL 0868-28-2057 〒708-0872 津山市平福546-1	FAX 0868-28-3835
岡山大学生生活協同組合	TEL 086-251-7207 〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1	FAX 086-256-0445
グリーンコープ生活協同組合おかやま	TEL 086-805-2566 〒700-0973 岡山市北区下中野311-113	FAX 086-805-2569
就実生活協同組合	TEL 086-201-2250 〒703-8258 岡山市中区西川原1-6-1	FAX 086-201-2259

協同組合のアイデンティティに関するICA声明

21世紀に向けた世界の協同組合の活動指針を示す新しい協同組合原則

定 義	協同組合とは、人々が自主的に結びついた自律の団体です。人々が共同で所有し民主的に管理する事業体を通じ、経済的・社会的・文化的に共通して必要とするものや強いねがいを充たすことを目的にしています。
価 値	協同組合は、自助、自己責任、民主主義、平等、公正、連帯という価値に基づいています。組合員は、創始者達の伝統を受け継いで、正直、公開、社会的責任、他者への配慮という倫理的な価値を信条としています。

原 則 協同組合は、その価値を実践していくうえで、次の原則を指針としています。

第1原則	自発的で開かれた組合員制	第5原則	教育、訓練および広報
第2原則	組合員による民主的管理	第6原則	協同組合間協同
第3原則	組合員の経済的参加	第7原則	コミュニティへの関与
第4原則	自治と自立		

コープSDGs 行動宣言



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

私たち生協は、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献することを約束します。

私たちは、「生協の21世紀理念(1997年総会決定)」のもと、助け合いの組織として、誰もが笑顔で暮らすことができ、持続可能な社会の実現をめざし、さまざまな取り組みをすすめてきました。誰も取り残さないというSDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。私たちは、あらためて持続可能な社会の実現に向けて取り組むことを、「SDGs行動宣言」としてまとめました。私たちは以下の7つの取り組みを通じて、持続可能な社会の実現をめざします。



持続可能な生産と消費のために、
商品とくらしのあり方を
見直していきます

私たちは、「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、持続可能な社会づくりをめざします。国内外の人々、そして限りある地球資源へ思いをはせ、商品の開発と供給をすすめます。学習活動を通じて、エシカル消費や持続可能な社会に関する理解を促進し、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直していきます。



健康づくりの取り組みを広げ、
福祉事業・助け合い活動を
すすめます

私たちは、食生活、運動、社会参加の視点から健康づくりをすすめます。安全・安心はもとより、より健康な食生活に向けた商品事業と組合員活動を推進します。生活習慣病や介護予防など「予防」を重視し、福祉事業や助け合い活動を広げ、自治体や諸団体と連携し、地域包括ケアシステムのネットワークに参画します。



誰もが安心して
くらし続けられる
地域社会づくりに
参加します

私たちは、誰一人取り残さず、安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守り、移動販売や配食事業など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割発揮をすすめます。



ジェンダー平等(男女
平等)と多様な人々が
共生できる社会づくりに
推進します

私たちは、地域における活動を通じて、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現に貢献します。女性も男性も、誰もが元気に、生きがいを持って働き続けられる生協づくりをすすめます。



地球温暖化対策を推進し、
再生可能エネルギーを
利用・普及します

私たちは、地球の持続可能性を揺るがす気候変動の脅威に対して、意欲的な温室効果ガス削減目標(2030年環境目標)を掲げ、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入に積極的に取り組みます。再生可能エネルギーの電源開発や家庭用電気小売を広げ、原子力に頼らないエネルギー政策への転換をめざします。



世界から飢餓や貧困をなくし、
子どもたちを支援する活動を
推進します

私たちは、誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフ募金などに取り組み、世界の子どもたちを支援します。「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、子ども食堂やフードバンク・フードドライブなどの取り組みをすすめます。



核兵器廃絶と
世界平和の
実現をめざす
活動を推進します

私たちは、「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざす取り組みをすすめます。私たちは、次の世代に被爆・戦争体験を継承し、日本国憲法の基本原則である平和主義のもと世界平和の実現に積極的に貢献します。